

## 今月のトピック

病気予防のキホンを確認し  
健全な苗を育てましょう

全国的に梅雨入りし、蒸し暑い時期になりましたね。梅雨時期のイチゴの育苗管理では気をつけたいことは病気の発生です。イチゴの病気の中でもとくに注意したい炭そ病の対策についてご紹介します。

復習！

## そもそも「炭そ病」とは？

炭そ病の病原菌は糸状菌というかびの一種です。感染すると、茎葉やランナーなどに局所的に黒い病斑をつくる場合と、クラウンを侵し株全体を枯死させる場合があります。生育適温は28℃前後（25℃前後を適温とするものもあります）で、気温が高くなる6月下旬から9月下旬にかけて発生が増えます。**茎葉、ランナーなどとともに土中に残った菌が感染源**となりますが、見かけは健全な潜在的感染親株から伝播する場合があります。**炭そ病に感染したことがある圃場には菌が潜んでいるため、病原菌にとって好適な環境をつくらないように管理には注意**が必要です。



炭そ病に侵されている

### ●炭そ病が発生しやすい条件

- ・ **高温多湿**  
ー6月下旬から9月下旬、とくに降雨時
- ・ **雨や灌水による植物体への水滴付着や土の跳ね返り**  
ー屋外での育苗、頭上灌水やハス口を使った手灌水で灌水している施設
- ・ **発病しやすい品種を栽培している**

## 炭そ病対策

### ●基本的な対策をして農薬散布を！

病気予防の基本は菌の侵入経路を断ち、繁殖を防ぐことです。

侵入  
させない

- ・ 摘葉など植物体に傷口をつくる**作業は乾きやすい晴天時**に行う。
- ・ 植物体に**水滴は泥はねを付着させない**。  
点滴チューブなど株元に直接灌水できる資材を利用する。
- ・ 病原菌に侵されていない**健全な親株を使用する**。
- ・ **種子繁殖性品種**を利用する。

増や  
さない

- ・ **過度な窒素施用を避け、適切な肥培管理**を行う。**過繁茂にしない**。
- ・ 苗を十分な間隔を置いて並べる。摘葉を遅らせない。  
**葉が混雑することを避け、過湿状態にしない**。
- ・ **農薬散布で菌の密度を下げる**。  
降雨の影響を受ける薬剤、影響を受けにくい薬剤があるため\*、  
屋外で育苗している場合は天候に応じて使い分けることをおすすめ。
- ・ 菌体資材を利用する。  
**有益な菌を増やすことで有害な菌の増殖を抑える。病気に強くする**。
- ・ **発病が疑わしい株は早急に撤去**する。

\*武山ら、イチゴ炭疽病に対する降雨時の薬剤防除効果、愛知農総試研報 53:67-72(2021)

## 炭そ病対策におすすめの商品

菌体資材で有害な菌の繁殖を抑え病気に強く！

### 『楽農美人』（らくのうびじん）



トヨタネHP  
商品ページ  
はこちら！



メーカー  
商品ページ  
はこちら！



#### 【効果】

- ・資材に含まれる菌が生産する抗菌物質による静菌作用
- ・有用菌増加による土壌改良・連作障害抑制
- ・微生物がつくる植物ホルモンによる発根促進

#### 【使用量】

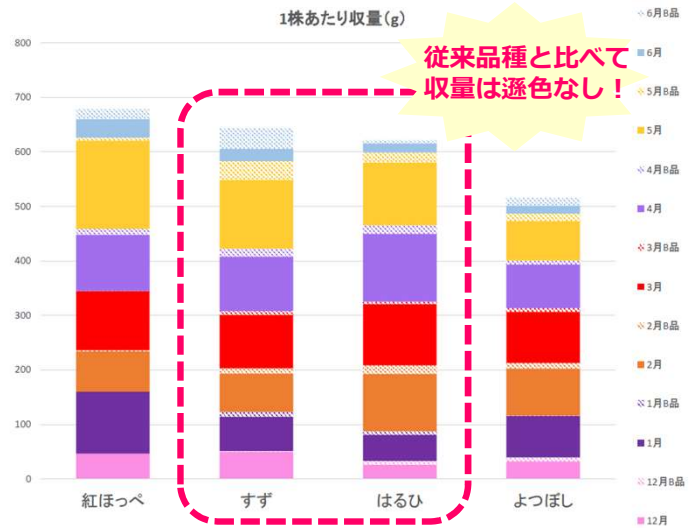
- ・灌 水：希釈倍率1000倍以上、1～2週間に1回  
原液で500cc/10aが目安
- ・葉面散布：希釈倍率1000倍、薬剤散布のたびに混用

品種のバリエーションが増えます注目！

### 『種子繁殖性イチゴ品種』 よつぼし、ベリーポップすず/はるひ 等

#### 【種子繁殖性品種のメリット】

- ・育苗期間が短く病気の感染リスクが低減
- ・病害の親子間伝染が回避できる
- ・育苗期間が短縮され省力化に貢献
- ・ランナーによる増殖の手間が省略できる



\*当社研究農場試験結果（2022年）

## 当社の研究農場でも イチゴに関して各種試験をしています！

### 『品種比較試験』

従来品種、種子繁殖性品種を比較しています。

### 『クラウン温度制御』

より効果的なシステム・技術の検討をしています。

### 『早期定植技術の確立』

品種特性と最新技術を組み合わせた栽培体系を検討しています。

### 『微生物資材による残さ分解』

微生物資材による残さ処理で労力軽減を目指します。

**研究農場にお越しいただき  
ぜひ体感してみてください！**

▶ Instagramで  
研究農場の日  
常を発信して  
います！



トヨタネ株式会社

